



●Answer

沖繩市・コザ山球陽寺 前任住職
帰依 龍照(きえ りゅうしょう)

Q 年中行事の七夕の墓掃除のとき、「切っていい木と切ってはいけない木がある」と、叔父から注意されました。墓の上にたくさん葉っぱを落とすので、根元からバツサリ切りたいたいのですが、ガーデニングみたいなアドバイスに戸惑っています。

(豊見城市・Uさん・50代・男性)

A お墓のお掃除を行う旧暦七夕(7月7日)

は、今年には新暦8月7日です(沖縄では掃墓節という考え方から、旧暦3月の清明節(ウシミー)のときにお墓のお掃除を行う地域もあります)。多分、Uさんの叔父さんは「ティンゲー」のことをアドバイスくださったのだと思います。ティンゲーとは、漢字で天蓋(てんがい)と書きます。

ティンゲーの種類

昔の沖縄の葬列というお葬式の行列のとき、竜頭(りゅうず)という竜の顔・頭・首を象った祭具を掲げて、火葬場まで故人様の龕(がん)という棺(ひつぎ)を担ぎながらお見送りしていた資料を拝見したことがあります。この竜頭のことをティンゲーといいます。また、一般的には、仏事・

祭事の中心的なものや、トートローメーや骨壺など、神聖なるものに対して畏敬の念をあらわすため、そのものに当たる直射日光を遮る祭具である「天を蔽(おお)う傘(蓋)」全般も天蓋↓ティンゲーといえます。このティンゲーの身近なものとして、沖縄ではお葬式のとき、シルイフェー(白木位牌)やご遺骨に黒傘をさす慣習があります。この黒傘も直射日光を遮る祭具(傘)となりますのでティンゲーの現代版といえます。

お墓とティンゲー

このティンゲーをお墓に応用する考え方が沖縄にはあります。

Uさん家のお墓の上には樹木が蔽い茂っているようですが、偶然か？または意図的か？沖縄のしきたりに詳しい方々は、この樹木が大切なお墓のティンゲーだと考えることもあります。お墓のウナー(御庭)の脇にあるクワデイスアーなども、その一種だといえます。

墓地の樹木の整え方

さて、もしもこの樹木がお墓のティンゲーだと考

えられているなら、叔父さんからのアドバイスのように、「切ってはいけない木」に該当することがあります。Uさん家のお墓の形状は、樹木が蔽い茂っていますので、想像するにフィンチャー墓という山などの斜面を利用した掘り込み墓だと思えます。

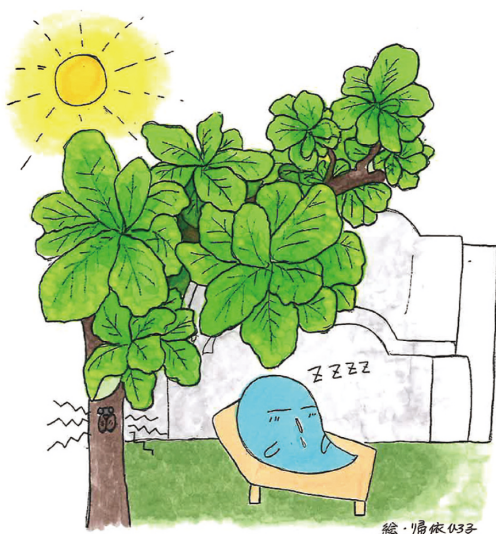
叔父さんがアドバイスされる「切ってはいけない木」の考え方は、ある意味、「葉っぱが落ちてきて大変ではあるが、掘り込み墓の中のウヤファーフジ(ご先祖さま)のご遺骨が、ティンゲーに守られながら自然に近い環境の中で安心して土に還(かえ)れるように」との愛情深い心遣いなのかもしれません。

このときは幹の根元から伐採するのではなく、なんとなくお墓を蔽っているような形状を残しつつ、落ちる葉っぱが少しでも

減るよう、枝のギリギリを剪定する判断が賢明かと思えます。クワデイスアーなど、ウナーにある樹木も、他家のお墓の境界部分に入る邪魔な枝は剪定し、わが家のお墓の方へ伸びるよう配慮されてはいかがでしょうか。

同じような場所にクロトンやチャーギ(犬槇)などが植えられているときは、お墓のハナイチ(花瓶)の中にお飾りするためにも考えられますので、軽めの剪定で、いつでも使用できるような程度、葉っぱを残しておかれるといいでしょう。

樹木は「根ほど 葉は広がる」といいます。葉の広がりは、その樹木の根の広がりでもあります。ニ(根)↓ネーの広がりが、Uさん家のチネー(家庭)の広がりや繁盛に繋がりますように。



絵・帰依 432

帰依 龍照(きえ りゅうしょう)

1968年生まれ(51歳)、岡山県出身/学歴:岡山大学大学院博士課程単位取得・中央仏教学院研究科卒/専門分野:哲学(宗教哲学)/コザ山球陽寺(京都創建760周年・沖縄移転60周年)第18代住職/沖縄県宗教研究会・理事長/沖縄県内にて年間多数の住宅・墓の起工式(地鎮祭)を担当しつつ、行政・企業・学校における「琉球・沖縄のしきたり」に関する講演活動を行う。1人の娘と3人の息子の父親。

【質問をお寄せください】年中行事やしきたりに関して、日ごろから疑問に思っていることや、質問をお寄せください。随時、紙面で紹介する予定です。「かふう編集室 年中行事Q&A係」郵送、FAX、メールで受付。宛先は19面をご覧ください。